

政策コメンテーター報告(第1回)(意見照会期間:2017年4月10日~4月19日):鶴田 欣也 鶴田石材株式会社代表取締役社長

質問事項		記述式回答
個人消費の動向		
1	個人消費の動向をどうご覧になっていますか。また、そのような動向となっている要因やメカニズムについて、お考えをご教示ください。	力強さ欠く状況が続くと見ている。社会保障費の負担増、高齢者増による介護・医療負担の現役、とりわけ子育て世代の重圧は相当なものである。
消費の活性化		
2	消費を活性化するためには、どうしたらよいとお考えでしょうか。	社会保障改革の実現することの実感、見通しが必要である。かつ、内部留保を増やす大企業と中小企業の賃金の格差是正を着実に図るべきである。
プレミアムフライデー		
3	効果	業界ごとの取組計画の公表が効果的。会員やお得意先の展示即売会に部単位で行きやすくなったと聞く。
	早帰りを促すための工夫	週末の天気予報の報道とセットとなったイベント広報があると早く帰り、寄ってみたいと思う。
	本取組を消費拡大につなげるための工夫	夕方市(朝市のような)のぼりやポップがあると刺激される。
	本取組を続けていくための工夫	カレンダーや各種催事に今から盛り込むとよい。
	その他	業種別の行動宣言が策定されるような官民挙げてのサポートがあると有り難い。